



学生がプロデュースしたモデルハウスを一般公開

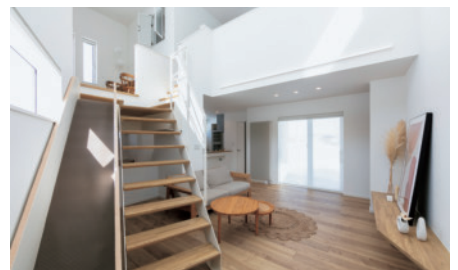
経済経営学部と住宅会社大手の株式会社ロゴスホールディングスが協力的連携事業として協定を結び、2023年6月から進めてきた「モデルハウスプロデュースプロジェクト」。これは、学生と企業とが協働し、札幌市厚別区の宅地「プラチナアベニュー厚別東」にモデルハウスを実際に建築する取り組みです。

多数の応募者の中から選ばれた、いずれも当時3年生の6名の学生（経済学科から茅根光さん、瀬川愛恋さん、経営学科から安宅雅治さん、小倉光洋さん、佐井菜広さん、外崎幹奈さん）が、2グループに分かれ、建築の専門家の指導を受けながら、モデルハウス建設地である厚別区の市場調査を通じて購入予定者の家族を想定し、その理想を形にしたモデルハウスプランを作成しました。グループ1の「つながる家」は便利な生活動線に配慮し、家族の心地よい生活を意識。秘密基地のような小スペース「ヌック」、階段横には滑り台、子ども部屋にはプリンセス窓、そして夫婦の寝室にはテラスを設置。将来家族の形が変わった後も「滑り台のあるおじいちゃんおばあちゃんの家に行きたい!」と思ってほしい、と新たなつながりを期待しています。

グループ2は、家の中央に設置されたコミュニケーションスペースとしての大きな階段と中庭がメインの「個と輪が融合する家」。家族や友人たちと一緒に休日を過ごせる家をイメージし、キッチンにはバーカウンター、階段横には本棚を設置し、階段を中心にみんなが集える仕組みにしつつも、個人のスペースもしっかり確保。収納スペースを広く取り、使い勝手の良さも意識しました。これら2つのプランを株式会社ロゴスホールディングスの役員陣にプレゼンテーションし、審査の結果採用されたのは「つながる家」。2023年末には建築を開始し、学生たちが制作したモデルハウス紹介ホームページも公開された2024年3月上旬、学生のアイデアが詰まったモデルハウスが完成しました。完成発表会ではメンバー6名がテープカットし、モデルハウスが一般公開されました。

「経済経営を学ぶ自分たちがモデルハウスの建築に大きく携われたこの得難い機会に感謝している」「成果が形として残ったのは、大きな財産」「学生生活でこんなに集中して注力した経験はなかった。毎日ワクワクしていた」「様々な価値観に触れ、失敗から得た経験も自分の糧になった」。新たな視点と発想が試されたモデルハウスプロデュースプロジェクト、学生たちは自らの成長を大きく実感したようです。

※モデルハウスプロデュースプロジェクトの取り組み内容は、UHBで4回にわたるテレビ番組として放送されました。



2024 年度 入学式

大学院 3 研究科 15 名、4 学部 7 学科 693 名、
合わせて 708 名が入学しました。

4 月 2 日、2024 年度入学式を挙行了しました。新入生と大学教職員のほか、ご家族の皆さまにもご参列いただき、札幌文化芸術劇場 hitaru にて開催しました。

入学式は 2 部構成とし、第 1 部では河西邦人学長の式辞に続いて、在学生代表の福田和彦さん(経済学科 3 年)、新入生代表の餌取桃子さん(こども発達学科)からの挨拶があり、最後に参列者全員で吹奏楽団の演奏とともに校歌を斉唱しました。第 2 部では、白石英才常務理事から本学の創立の経緯について紹介があり、新入生は本学の歴史と伝統を心に留めながら、札幌学院大学の学生としての第一歩を踏み出しました。今後の学生の皆さんの活躍を心から期待します。



【学長式辞】

708 名の新入生の皆さんを迎えることができました。大変嬉しく思います。5 万 2,000 人もの卒業生を社会に送り出している、札幌学院大学によくぞいらっしやいました。大学を代表して心より歓迎の意を表します。様々な夢と目標を持ち、札幌学院大学へ入学された皆さんへお祝いをお伝えすると共に、One life, Many answers を実現する、札幌学院大学での学修についてお話しさせていただきます。

大学はよく、「知の拠点」という呼び方をされます。知識を創造する理論の一つは多様な知識が相互作用し、新しい知識が創造されるというものです。重要なのは多様な知識を得て、それを融合することです。札幌学院大学の全学生は教養教育において共通の基盤になる知識や能力を身につける学修をします。その上で皆さんが所属する学科の専門知識を学び、専門的な理論を基に考察する力を身につけてもらいます。可能であれば、4 学部、7 学科を展開する文系総合大学である札幌学院大学の優位性を活かし、他学部他学科の専門科目を受講することで多様な知識を吸収してください。札幌学院大学での学修が皆さんの持っている潜在力を十分引き出し、皆さんが札幌学院大学を卒業、修了して行くときには大きく成長していることを期待します。



「みんなでまると、健康をつくるまち」を目指して 新さっぽろ健康フェスに参加しました

3 月 22 日～23 日、複合商業施設サンピアザ 1 階光の広場(厚別区)にて「新さっぽろ健康フェス」が開催されました。

このイベントは、一般社団法人新さっぽろエリアマネジメントが、地域の皆さまに気軽に楽しく健康づくりに親しんでもらおうと主催したもので、連日多くの来場者でにぎわいました。

札幌学院大学からは、メンバーの多くが心理職を目指す学生で構成された「傾聴ボランティアサークル」が「脳トレ」を出展し、紙に「無限大記号」を書くアクティビティを通じて、約 200 人の地域の皆さまに記憶力向上の機会を提供しました。

また、お笑いサークル「我ら！笑学生」からは 4 組のお笑いコンビが登場し、それぞれ健康をテーマにしたネタを披露しました。「やっぱり笑うことが一番の健康！」のオチに会場内は笑いに包まれました。



「第 4 回学生ビジネスプランコンテスト」を開催しました

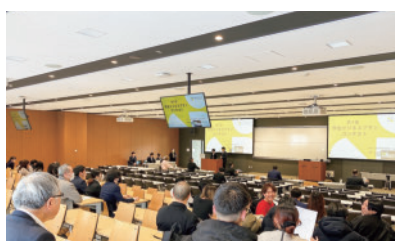
2 月 24 日、札幌学院大学社会連携センター主催の「第 4 回学生ビジネスプランコンテスト」を新札幌キャンパスにて開催しました。

学生ビジネスプランコンテストは、学則に掲げる本学の目的に従い「次世代の北海道を担う優れた人材を育成する」というコンセプトで 2020 年度から始まりました。4 度目となる今回の開催では、札幌学院大学とその連携校、そして道央圏の大学・短期大学 14 チームが出場し、社会や地域の課題解決を目指すビジネスアイデアを競い合いました。

最優秀賞に選ばれたのは札幌学院大学経営学科 3 年の坂本翔弥さんです。多くの野菜や魚、果物が規格外品として廃棄されている現状を解消することを目指し、「正規品の価格維持」を考慮した上で、生産者と消費者との間に新たなつながりを生み出すモール型 EC サイトを立ち上げるビジネスプランを提案しました。

優秀賞は北海道情報大学白土チームの「DINCOME」と札幌国際大学観光学部観光ビジネス学科の田中ゼミの「地域の人手不足を「旅」で解決『家族で楽しむ!』ぶどう収穫ボランティアツアー★」がそれぞれ受賞しました。

学生ビジネスプランコンテストをきっかけに、学生たちの起業に対する興味・関心が高まり、将来の起業化に向けた行動につながることを期待します。



学生が出版した写真集が優れた個人出版作品の表彰でグランプリを受賞

人文学部英語英米文学科3年の伊藤未知さんが出版した写真集が、優れた個人出版作品を表彰する「パプファンセルフアワード2024」で見事、グランプリに輝きました。

2021年に全線の8割が廃線となった日高本線への想いを綴った写真集『ぼくは日高本線が大好きだった 地元の小学生が記録していた“ありし日”の全29駅』には、浦河町出身の伊藤さんが小学生の頃に撮り溜めた1,000枚を超える写真の中から当時の駅舎や線路、車両などの風景が、伊藤さんのコメントとともに収められています。

選考委員会の審査員からは「著者の宝物を見せてもらっているかのようななんとも言えない幸福感。この作品があればあの頃の日高本線は、ずっと残り続ける」など高い評価を得ました。

この偉業を称え、河西邦人学長と中村敦志人文学部長から伊藤さんに下記のお祝いの言葉とメッセージが贈られました。「苫小牧から浦河に向かう車中、右手に太平洋、左手に馬牧場がひろがる風景を懐かしく思い出します。私も大好きな路線でした。これからもローカル線の魅力を発信し続け、写真とエッセイによるパーソナルブランドを立ち上げて地域の活性化に貢献するなど、可能性をどんどん拡げていって下さい」（河西学長）

「写真に添えられた伊藤さんのコメント、その一つひとつに深い味わいがあります。地元の人はずっと喜ぶでしょう。廃線後の今の状況と当時の写真を組み合わせてみるのも面白いかもしれませんね」（中村人文学部長）

今回の受賞について伊藤さんは「列車が駅にひっそりと停車している姿が好きで、乗客目線での写真は自分でも気に入っています。読者から『乗っていたときの気持ちを思い出した』『日高本線に興味を持った』などの感想が寄せられ、とても嬉しい気持ちです」と話されました。



コンタクトケース回収活動で感謝状

Collaboration Centerでは2023年2月より、HOYA株式会社アイケアカンパニーの「アイシティブロジェクト[※]」に参加、江別・新札幌の両キャンパスにおいて、使い捨てコンタクトレンズの空ケース回収ボックスを設置しています。

皆さまのご協力の結果、この短期間で江別キャンパス2,520個、新札幌キャンパス3,760個のケースの回収に成功しました。ケースはプロジェクトを通じて売却され、その代金は角膜移植とアイバンクの啓発・普及に努めている公益財団法人日本アイバンク協会に寄付されました。

この活動に対する取り組みが評価され、2024年1月、本学の両キャンパスに対して感謝状が贈られました。Collaboration Centerでは、これからも地球環境問題をはじめ、様々な社会貢献を行える場の提供に努めてまいりますので、変わらぬご理解とご協力をお願いします。

※使い捨てコンタクトレンズの空ケースを捨てることなく、リサイクルして限りある資源を有効活用するプロジェクト。



頑張った学生を応援する札幌学院大学の奨学・奨励金制度

スカラシップ特待生8名、成績優秀者奨学生17名、課外活動特待奨励生42名、資格取得者奨学生30名を採用

2024年度新入生のスカラシップ特待生、成績優秀者奨学生、課外活動特待奨励生、資格取得者奨学生が決定しました。これらの奨学生においては、入学後も高い志をもって勉学・課外活動に励むことを期待します。また、資格取得者奨学金制度を入学時に利用した学生に限らず、入学後も学生の皆さんが高い目標をもって資格取得に挑戦することを応援しています。

なお、スカラシップ特待生・成績優秀者奨学生・課外活動特待生として入学し、2024年度も継続対象となった在学生数は、スカラシップ特待生52名、成績優秀者奨学生91名、課外活動特待奨励生97名

【スカラシップ特待生】

	人数	学 科	免除額
新入生	8名	臨床心理学科4名、経済学科1名、こども発達学科1名、人間科学科1名、法律学科1名	1年次の年間授業料
在学生(継続者)	52名	臨床心理学科25名、経済学科6名、経営学科5名、こども発達学科3名、人間科学科1名、英語英米文学科8名、法律学科4名	年間授業料

【成績優秀者奨学生】

	人数	学 科	免除額
新入生	17名	臨床心理学科7名、経済学科1名、経営学科3名、英語英米文学科4名、法律学科2名	1年次の前期授業料
在学生(継続者)	91名	臨床心理学科24名、経済学科17名、経営学科21名、こども発達学科7名、人間科学科7名、英語英米文学科8名、法律学科7名	後期授業料

です。2023年度後期に資格を取得し、2024年度前期授業料の免除が決定している在学生数は21名です。

※本学の奨学事業には「教育振興寄付」が活用されています(8ページ)。

【課外活動特待奨励生】

	人数	種 類	競 技	免 除 額
新入生	42名	一種12名 二種26名 三種1名 四種1名 五種2名	弓道16名、書道1名、ソフトテニス10名、陸上競技8名、陸上ホッケー1名、硬式野球6名	第一種…年間授業料全額免除 第二種…年間授業料半額免除 第三種…1年次授業料の半額免除
在学生(継続者)	97名	一種29名 二種68名	弓道19名、硬式野球32名、ソフトテニス13名、陸上競技33名	第四種…入学金免除 第五種…入学金半額免除

【資格取得者奨学生】

	人数	資格の種類	免除額
新入生①	4名	実用英語技能検定準1級 1名、日本語能力試験N1 3名	入学金及び1年次授業料
新入生②	26名	実用英語技能検定2級 17名、全商簿記実務検定1級 6名、日商簿記検定2級 2名、日本語能力試験N2 1名	入学金
在学生	21名	TOEIC740点以上 7名、行政書士 1名、実用英語技能検定準1級 1名、日本語能力試験N1 11名、日本商工会議所簿記検定試験1級 1名	年間授業料の半額

2023 年度決算ならびに 2024 年度予算

事業活動収支計算書

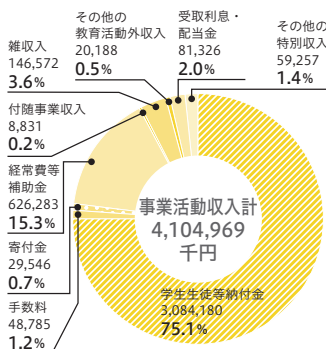
(単位：千円)

		2023年度予算	2023年度決算	差 異	2024年度予算	主な項目
教育活動収入の部	学生生徒等納付金	3,095,900	3,084,180	11,720	2,923,600	入学金、授業料、教育充実費、実験実習料など
	手数料	56,700	48,785	7,915	48,400	入学試験の検定料、試験料など
	寄付金	29,300	29,546	△246	31,000	個人や団体からの寄付金
	経常費等補助金 (内国庫補助金)	664,100 (661,700)	626,283 (625,777)	37,817 (35,923)	618,900 (616,500)	国又は地方公共団体からの補助金
	付随事業収入	9,000	8,831	169	9,000	外部より委託を受けて行う試験・研究などの収入
	雑収入	266,900	146,572	120,328	255,300	退職金財団交付金、科学研究費の間接経費の収入など
	教育活動収入計	4,121,900	3,944,198	177,702	3,886,200	経常的な活動のうち教育活動にかかる収入額計
	事業活動支出の部	人件費	2,034,300	2,106,832	△72,532	2,307,400
	教育研究経費	1,914,400	1,831,754	82,646	2,034,200	教育や研究部門に資する費用（減価償却費含む）
	管理経費	307,100	285,423	21,677	395,500	管理や法人部門に資する費用（減価償却費含む）
	徴収不能額等	200	141	59	300	
	教育活動支出計	4,256,000	4,224,150	31,850	4,737,400	経常的な活動のうち教育活動にかかる支出額計
	教育活動収支差額	△134,100	△279,952	145,852	△851,200	教育活動収入計から教育活動支出計を減じた額
教育活動外収入の部	受取利息・配当金	81,000	81,326	△326	87,500	貸付金または預金などの運用財産の利息・受取利息・配当金
	その他の教育活動外収入	21,300	20,188	1,112	24,200	
	教育活動外収入計	102,300	101,514	786	111,700	経常的な活動のうち教育活動以外の主に財務活動にかかる収入額計
	借入金等利息	100	91	9	100	借入金の支払利息、リース料の利息分など
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	
	教育活動外支出計	100	91	9	100	経常的な活動のうち教育活動以外の主に財務活動にかかる支出額計
	教育活動外収支差額	102,200	101,423	777	111,600	教育活動外収入計から教育活動外支出計を減じた額
経常収支差額	△31,900	△178,529	146,629	△739,600	教育活動収支差額と教育活動外収支差額の合計額	
特別収支	資産売却差額	0	0	0	0	資産売却収入が当該資産の帳簿価額を超える場合の、その超過額の収入
	その他の特別収入	57,200	59,257	△2,057	48,900	
	特別収入計	57,200	59,257	△2,057	48,900	資産売却や処分にかかる臨時的な収入
	資産処分差額	6,600	6,599	1	9,500	資産売却代金が帳簿価額を下回った場合の差額や資産を売却した際の売却額
	その他の特別支出	800	827	△27	0	
	特別支出計	7,400	7,426	△26	9,500	資産売却や処分にかかる臨時的な支出
	特別収支差額	49,800	51,831	△2,031	39,400	特別収入から特別支出計を減じた額
予備費	12,500	0	12,500	12,100	予備的予算で、本学では事業活動収入の0.3%を計上	
基本金組入前当年度収支差額	5,400	△126,698	132,098	△712,300	経常収支差額と特別収支差額の合計額	
基本金組入額合計	△184,600	△221,974	37,374	△84,100	1号から4号までの基本金組入額	
当年度収支差額	△179,200	△348,672	169,472	△796,400	基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を控除した今年度の収支差額	
前年度繰越収支差額	△8,810,000	△8,809,993	△7	△9,158,700	前年度までの収支差額	
翌年度繰越収支差額	△8,989,200	△9,158,665	169,465	△9,955,100	翌年度へ繰り越す収支差額	

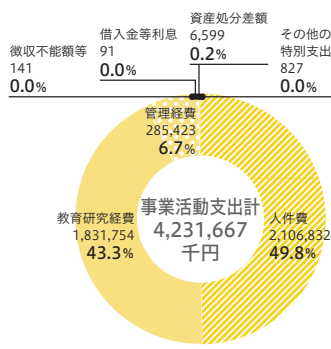
(参考)

事業活動収入計	4,281,400	4,104,969	176,431	4,046,800	当年度のすべての事業活動収入
事業活動支出計	4,276,000	4,231,667	44,333	4,759,100	当年度のすべての事業活動支出

2023 年度 事業活動収支計算書
事業活動収入割合 (金額単位：千円)



2023 年度 事業活動収支計算書
事業活動支出の部割合 (金額単位：千円)



2023 (令和 5) 年度決算並びに 2024 (令和 6) 年度予算

2024 (令和 6) 年 5 月 28 日に開催された第 260 回理事会において、学校法人札幌学院大学 2023(令和 5)年度決算及び第 261 回理事会にて 2024(令和 6)年度補正予算が承認されました。【2023 (令和 5) 年度決算の概要】

事業活動収支計算書の当年度収支差額については、予算額で 1 億 7,920 万円の支出超過を見込んでおりましたが、決算額では 1 億 6,947 万円増加し、3 億 4,867 万円の支出超過となりました。社会情勢に伴う学生数の減少や手数料収入の減少が大きく、引き続き入学生定員の充足ならびに財政基盤の安定化を目指し、学園全体での適切な経費の執行に努めます。

一方、資金（キャッシュ）の増減については、2022 年度末から 2 億 5,104 万円の増加となっております。今後も財務基盤をより強固なものにするため、中期的に収支均衡を図るよう改善を行って参ります。

資金収支計算書

(単位：千円)

		2023年度予算	2023年度決算	差 異	2024年度予算	主な項目
収入の部	学生生徒等納付金収入	3,095,900	3,084,180	11,720	2,923,600	入学金、授業料、教育充実費、実験実習料など
	手数料収入	56,700	48,785	7,915	48,400	入学試験の検定料、試験料など
	寄付金収入	29,300	29,546	△246	31,000	個人や団体からの寄付金
	補助金収入	709,200	673,383	35,817	661,400	国又は地方公共団体からの補助金
	付随事業・収益事業収入	30,300	29,019	1,281	33,200	外部より委託を受けて行う試験・研究などの収入
	受取利息・配当金収入	81,000	81,326	△326	87,500	貸付金、預金等運用財産の利息・受取利息・配当金
	雑収入	146,100	146,489	△389	255,300	退職金財団交付金、科学研究費の間接経費の収入など
	前受金収入	459,500	400,785	58,715	459,100	翌年度入学生の入学金、授業料、教育充実費など
	その他の収入	3,222,300	3,227,837	△5,537	431,200	運用資産の満期または売却による収入額、前期末未収入金、貸付金の回収収入など
	資金収入調整勘定	△627,900	△627,314	△586	△705,300	当年度末の未収入金、前期末の前受金など
	前年度繰越支払資金	764,800	764,793	7	1,015,800	前年度に繰越された預貯金など、支払資金の繰越額
	収入の部合計	7,967,200	7,858,830	108,370	5,241,200	
支出の部	人件費支出	2,140,700	2,127,396	13,304	2,306,000	専任教職員・非常勤給与、アルバイト料、退職金など
	教育研究経費支出	1,374,500	1,290,893	83,607	1,492,700	教育や研究部門に資する費用
	管理経費支出	268,400	246,711	21,689	355,400	管理や法人部門に資する費用
	借入金等利息支出	100	91	9	100	借入金の支払利息、リース料の利息分など
	借入金等返済支出	12,500	12,500	0	12,500	借入金等の元金返済にかかる支出
	施設関係支出	136,400	137,746	△1,346	96,200	土地・建物・構築物等の固定資産取得の支出
	設備関係支出	74,200	74,648	△448	163,800	備品・図書・施設利用権等の固定資産取得の支出
	資産運用支出	2,949,800	2,972,370	△22,570	251,100	運用資産の新規購入または満期償還などによる再取得額
	その他の支出	74,000	78,296	△4,296	76,800	新たな貸付金、前払金、前年度の未払金など
	予備費	12,500	0	12,500	12,100	予備的予算で、本学では事業活動収入の0.3%を計上
	資金支出調整勘定	△81,300	△97,658	16,358	△85,000	当年度の期末未払金、前期末の前受金
	翌年度繰越支払資金	1,005,400	1,015,837	△10,437	559,500	次年度に繰越す預貯金など、支払資金の繰越額
支出の部合計	7,967,200	7,858,830	108,370	5,241,200		

貸借対照表

(単位：千円)

資産の部		本年度末 2024年3月31日	前年度末 2023年3月31日	増 減	主な項目
固定資産	23,452,659	23,802,356	△349,697	有形固定資産とその他の固定資産の合計額	
有形固定資産	15,413,735	15,776,132	△362,397	使用期間が1年以上にわたる、土地・建物・構築物・備品・図書	
特定資産	7,470,174	7,433,389	36,785	1年以上所有する特定資産	
その他の固定資産	568,751	592,835	△24,084	1年以上所有する、電話加入権・施設利用権・長期貸付金・長期前払金	
流動資産	1,245,035	1,087,032	158,003	現金や預金・1年以内の短期貸付金	
資産の部合計	24,697,694	24,889,388	△191,694		
負債の部					
固定負債	1,204,757	1,235,416	△30,659	返済期限が1年以上の借入金や学園債、退職給与引当金	
流動負債	526,998	561,334	△34,336	返済期限が1年未満の借入金や学園債、預り金や未払金	
負債の部合計	1,731,755	1,796,750	△64,995		
純資産の部					
基本金	32,124,604	31,902,630	221,974	学校法人会計基準第30号で定められた固定資産(第1号)、新校舎建設等引当特定資産(第2号)、運用興業で行う奨学事業の基金(第3号)、法令に基づいた支払準備金(第4号)	
繰越収支差額	△9,158,665	△8,809,993	△348,672	前年度までの繰越収支差額に、当年度の繰越収支差額を加えた累積額	
純資産の部合計	22,965,939	23,092,638	△126,699	基本金及び繰越収支差額の合計	
負債及び純資産の部合計	24,697,694	24,889,388	△191,694	負債の部合計と純資産の部を合計した額	

【2024（令和6）年度の予算編成方針】

財政再建計画が掲げる数値目標にもとづき、収入財源の確保と人件費等の経費節減により、収支構造の改善を目指します。

また、各部門の事業予算は、目標達成に必要な不可欠なものに対してその有効性、効率性、経済性を考慮して適正に配分します。さらに、教育・研究基盤の整備（内部充実）とブランドの構築に資する事業に対しては大学発展準備引当特定資産を活用し、予算を重点配分します。

1. 予算統制制度に従った編成と執行

- 1) 事業予算の編成にあたっては、予算統制制度の下で理事会と大学が連携し、法人予算と大学予算全体を見通した原案づくりを進め、予算の適正な配分を行います。
- 2) 予算の執行段階では、予算統制制度に従い、厳格な執行管理と機動的・弾力的な運用を通じた事業の適正かつ効率的な運営を行います。

2. 収入の増加

- 1) 入学者の獲得と退学率の改善によって収容定員の充足を維持し、年次計画的な学費改定とあわせて学費収入の着実な増加を図ります。
- 2) 収益事業の展開等、多様な収入財源の確保を図ります。
- 3) 教育振興のための寄附金募集に取り組みます。
- 4) 競争的補助金の戦略的な獲得を目指します。その実現に必要な予算を確保します。
- 5) 経常費補助金の増額を図ります。具体的には、全学部で学生定員を充足し、教育の質保証のための取組を強化することによって一般補助金と特別補助金の増額を目指します。
- 6) 受取利息の増加を図るため、安全かつ効率的な資産運用計画を策定し、実施します。
- 7) 間接経費の獲得を推進するために研究支援機能の強化を図ります。

3. 支出の適正化と事業の活性化

○部門別経常予算

- 1) 教育・研究・社会貢献及び管理運営に必要な経費は、基盤的経費として予算措置します。
- 2) 各部門の重点事業については、さらなる強化と新たな展開を図ります。

○戦略的事業予算

- 1) 中期計画（財政再建計画）の重点課題を中心に、教育研究の特色化やブランド化を図る戦略的な事業に対して予算を重点配分します。
- 2) 戦略的事業予算は、部門別経常予算とは別枠で措置します。

○包括的予算制度

- 1) 事業の効率的かつ効果的な遂行を実現するため、予算項目に割り当てられた予算を超えて執行する必要が生じたときは、予算単位の予算総額の範囲内において、他の予算項目からの流用を認めます。
- 2) 2024年度は、広報入試部門・管財部門・グローバル部門を対象とします。

4. キャンパス整備事業の推進

- 1) 江別キャンパス図書館書庫（2号館）の移設と1号館・2号館の機能移転について、2025年度～2026年度に完了するように検討します。

【2024（令和6）年度予算の概要】

以上の方針に基づき、当年度収支差額は7億9,640万円の支出超過を見込んでおり、資金（キャッシュ）については4億5,630万円の減少を見込んでおります。先にも述べましたが、中期的に収支均衡を図るよう改善を行う所存です。

2024年度 科学研究費助成事業（日本学術振興会）採択状況

科学研究費助成事業とは、文部科学省並びに独立行政法人日本学術振興会所管の競争的研究費です。本学からも下記の研究者が競争的研究費を獲得し、研究活動を活発に行っております。

（単位：円）

学部	研究代表者	研究種目	研究課題	交付決定額
人文	白杵 勲	基盤研究 (A)	囲壁施設・生産遺跡を中心とした初期遊牧国家の考古学的研究	5,590,000
経済経営	小池 英勝	基盤研究 (C)	最適解の高速列挙によるコンテナ流通混雑問題の解決	再延長
人文	横山登志子	基盤研究 (C)	フェミニストソーシャルワークの理論構築	780,000
経済経営	井上 仁	基盤研究 (C)	マイナス金利政策が銀行貸出および銀行収益性に与える影響	1,040,000
人文	奥田 統己	基盤研究 (C)	現地調査により残されたアイヌ語音声・筆録資料および未公開論文等の横断的整理と公開	1,170,000
人文	山田 伸一	基盤研究 (C)	19世紀後半の北海道・千島沿岸を中心とするラッコ・オットセイ猟に関する基礎的研究	650,000
職員	辻 由依	若手研究	発達障がい学生の自己理解促進を目的とした支援方法の検討	650,000
経済経営	大國 充彦	基盤研究 (C)	戦後復興期労働運動の分水嶺—パーソナル・ドキュメントの分析から	1,430,000
人文	大塚 宜明	基盤研究 (C)	北海道における黒曜石原産地開発と石材流通過程の解明：置戸産黒曜石を中心に	1,300,000
経済経営	王 佳星	若手研究	寒冷地世帯を対象とした世帯のエネルギー使用の地域特性に関する実証研究	2,600,000
経済経営	橋長真紀子	基盤研究 (C)	日本とスイスのエシカル消費の規定因に基づく消費者教育プログラムの開発	1,040,000
人文	河合 直樹	基盤研究 (C)	共同的な書道実践のアクションリサーチと社会実装	1,950,000
心理	山本 彩	基盤研究 (C)	社会的ひきこもりへの家族支援プログラム CRAFT を対象とする「普及と実装研究」	910,000
経済経営	田代 歩	若手研究	消費税の軽減税率と給付の実証研究—効率性と公平性のシミュレーション分析	1,040,000

保護者懇談会のご案内

保護者の皆さまと大学との情報交換、連携を深めることを目的として開催されている保護者懇談会を今年度は「帯広会場」、「北見会場」、「釧路会場」、「本学会場」にて、保護者の皆さまをお招きし、開催する予定です。

本学の教育と最近の就職状況についてご説明申し上げるとともに、学生一人ひとりの修学状況等（単位修得・成績等）について、個別にお話しさせていただきます。

開催の詳細は、以下のとおりを予定しています。



開催地	開催日	受付	保護者懇談会	会場
帯広	8月31日(土)	12:00	12:30～14:30	ホテルグランテラス帯広
北見	9月14日(土)	9:00	9:30～12:00	ホテル黒部
釧路	9月15日(日)	9:00	9:30～12:00	釧路プリンスホテル
本学	10月12日(土)	9:30	10:00～13:00	札幌学院大学 江別キャンパス
		13:00	13:30～16:30	札幌学院大学 新札幌キャンパス

心理学部佐野友泰教授が日本学校メンタルヘルス学会 優秀査読者賞を受賞

心理学部佐野友泰教授が、日本学校メンタルヘルス学会編集委員会によって2023年優秀査読者賞に選出され、2024年3月16日、日本学校メンタルヘルス学会第26回大会において表彰されました。

同学会が発行する学会誌『学校メンタルヘルス』に投稿された論文審査において、佐野教授が長年査読に尽力し学会誌の発展に寄与された功績が認められ、このたび受賞の運びとなりました。



授賞式にてスピーチをする佐野友泰教授

100円朝食を実施

春の食生活改善運動「100円朝食」が4月24日より3日間行われました。この企画の狙いは、新年度が始まり、初めて一人暮らしをするなど学生の生活環境が大きく変わる時期でもあるため、朝食から生活リズムを整えてもらうことで、16年前に始まりました。学生たちは栄養満点・ボリューム満点の朝食を100円のワンコインで食べられるということから、今回も多く参加してくれました。



これを機会に「朝は食欲がない」「食べる時間がない」という学生が一人でも少なくなることを期待します。参加学生からは、「普段は時間がなくて朝食は抜いてしまう。今日はとても美味しかった」「コンビニで朝食を買うことも多かったが、100円でこれだけ食べられるのは有難い。続けて欲しい」という意見が多く、みんな笑顔で学生食堂を後にしていました。本学ではこの企画を年4回実施予定です。

教員著書紹介

『消費税改革の評価

—効率性と公平性の経済分析—

田代歩（経済経営学部経済学科准教授）著

出版社：関西学院大学出版会
 出版年：2023年11月
 I S B N：978-4-86283-369-3
 価格：4,840円（税込）
 頁：194ページ

日本では2019年に消費税率が10%になり、さらに軽減税率が導入されました。消費税率の引き上げや軽減税率の導入は私たちの生活に直接的な影響を与えます。本書では、経済学のツールを用いて軽減税率などの税制改革の影響を実証的に分析し、消費税の制度設計やその効果について論じています。消費税は日本の税収を支えるうえで必要不可欠であり、今後もその重要性はますます高まっていきます。その中でどのような消費税の軽減税率であれば、社会に受け入れられるのか、いかなる消費税の税制改革を行えば社会を改善することができるのか。これらの問題意識にもとづいて学術的な知見を発信している点が本書の特徴です。

※本書は令和5（2023）年度科学研究費助成事業「研究成果公開促進費（学術図書）」JP23HP5117による交付を受けたものです。



『主権者教育を始めよう

—これからの社会科・公民科・探究の授業づくり—

川原茂雄（人文学部人間科学科教授）
 山本政俊（元人文学部人間科学科教授） 編著
 池田考司（人文学部人間科学科教授）

出版社：明石書店
 出版年：2024年4月
 I S B N：978-4-7503-5745-4
 価格：2,420円（税込）
 頁：200ページ

本書は、学校での「主権者教育」の実践に広く取り組んでもらうことを目的として、先生方や、これから教師になろうとする学生たちを読者に想定し、昨年まで本学の社会科教育を担当した山本政俊先生と今年から担当している池田考司先生と川原茂雄先生の三人で編著したものです。「主権者教育」に関心のある市民の皆さんにも読んで頂きたいと思っています。



後援会評議員会を開催

去る5月18日、新札幌キャンパスにおいて2024年度後援会評議員会を開催しました。評議員会では、①会長の選任、②監事の選任、③2023年度事業報告並びに決算報告、④2024年度事業計画及び予算を審議し、提案どおり承認されました。2023年度事業報告では、後援会報の発行、卒業生への記念アルバム贈呈、学生課外活動への活動補助等を行った旨、報告があり、2024年度事業計画では、学生課外活動激励金の新設等について提案がありました。

今年度も大学と協力しながら各種事業を推進して参りますので、引き続き、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

なお、評議員会の詳細は、大学ホームページ及び後援会報(2024年8月1日発行予定)に掲載しますのでご覧下さい。



国際交流について

本学には「交換留学」の制度があり、海外協定大学との学術交流協定に基づく学生派遣並びに受入れを行っております。

今年度春より、韓国の東國大学校(WISEキャンパス)から1名、韓南大学校から1名、中国の集美大学から1名、計3名の交換留学生を受け入れています。彼らは半年間または1年間の留学生活を送ります。

所属大学では日本語を専攻していますが、実際に日本での生活は初めてのため、日本での生活ルールや修学に関するオリエンテーションを受けた頃は緊張した様子でしたが、1カ月も経つと、日本での生活にも慣れ、笑顔が多くなりました。

本学学生との交流を深めるとともに日本の文化に触れることで学びの多い充実した留学生活を送ることを願っています。



左から交換留学生のイ ヨンジさん(東國大学校(WISEキャンパス))、イ ミンジュさん(韓南大学校)、コウ キョウテイさん(集美大学)

卒業生この人

小樽カントリー倶楽部
株式会社小樽ゴルフ場 経営企画部 部長
全国健康保険協会
北海道支部評議会 評議員
武山 恵美さん



「一度はプレーしてみたいゴルフ場」日本のトップ10に選ばれたことがあるほど難易度が高く美しいコース「小樽カントリー倶楽部」は、1928年に創立された北海道で最古のゴルフ場。4年後に100周年を迎える歴史と伝統を誇る会員制のゴルフ倶楽部で総務・経理課課長、財務管理部部長を経て、現在は経営企画部部長として採用、財務管理、株式実務、メンバーの入会などに携わり、全国健康保険協会北海道支部評議会評議員でもある武山恵美さん(1991年人文学部人間科学科卒業)に、お話をお聞きしました。

Q. 現在お勤めの会社に就職されたきっかけを教えてください。

理由の一番は会社が自宅から近かったことです。学生時代は陸上競技部に所属していたこともあり、スポーツ関連の会社が自分に合っているのではないか(スーツや革靴よりもスポーツウェアやスニーカーで仕事がしたい、一日中デスクワークより体を動かしたい、オフィスビルの中で働くのはもういいかな…)と思い、転職先を選びました。現実とは想像していたことばかりではありませんでしたが、早いもので勤続20年になります。

Q. 現在お勤めの会社にて、これまでに経験した仕事に関するエピソードを教えてください。

2004年9月に台風18号が小樽カントリー倶楽部を直撃しました。クラブハウス、散水設備などが壊れ、1,000本を超える樹木が根こそぎ倒れ、コースは無残な姿になってしまいました。このことを伝え聞いたメンバーさん方が連絡を取り合って駆けつけてくださり、コースを守りたい一心で従業員達と一丸となり、10日間延べ1,500人で復旧作業を行いました。当時私は入社1年目でしたが、メンバーシップのすばらしさを感じ、小樽カントリー倶楽部はメンバーさん方によって支えられていることを実感しました。また2018年の創立90周年記念祝賀会で配布するため、メンバーの編集委員会の方々と共に小樽カントリー倶楽部の古い写真や文献を集め、『創立90周年記念年譜』の制作に携われたことも貴重な経験でした。現在も歴史と伝統を後世に繋ぐため、『100周年記念誌』の編集作業もしています。

Q. 札幌学院大学に入学して良かったこと、在学中の印象に残っている思い出をお聞かせください。

仕事などを通して、卒業生にお会いする機会が時々あります。卒業して30年以上経ちましたが、初めて会う方でも卒業生と分かるお互いに親近感が湧きます。そんな時は「札幌学院大学はいいな」と心から思います。そして、卒業生の頑張っている姿を応援しながら自分自身も頑張ろうという気持ちになります。



在学中の思い出は、初めて札幌学院大学が全日本大学駅伝対校選手権大会の北海道代表になったとき、豊平川の河川敷で部員の仲間たちと応援し、その感動で泣きながら喜び合ったことです。

出場常連となった後輩達の勇姿を毎年テレビの前で応援しています。

Q. 後輩である本学の学生たちにメッセージをお願いします。

2017年から全国健康保険協会北海道支部(協会けんぽ)評議員の活動もさせて頂いております。元気な時って、健康であることをあまり意識しないですね。毎日忙しくしていると健康のことなど気に留めることがないかもしれません。自分が健康でいることが、家族や友人をどれだけ支えているか、幸せにしているか、あらためて「健康でいることの大切さ」を考えてみてはいかがでしょうか。

教育振興寄付のご協力に深く感謝・芳名

平素より大学への暖かいご支援、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

札幌学院大学は「自律・人権・共生・協働」を理念に、今後も地域の発展を支える人材の育成に取り組んでまいります。

本学が取り組む教育事業のさらなる充実のため、教育振興に関わる寄付についてご協力をお願いいたします。教育振興寄付金は①奨学金制度の充実 ②教育研究活動の充実 ③国際交流事業の充実 ④課外活動の充実 ⑤施設・設備の整備・充実に活用させていただきます。寄付金の趣旨をご理解いただき、皆さまのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

寄付の詳細についてはホームページをご覧ください。

■ご寄付への感謝を込め、公表に同意をいただいた方のご芳名を掲載させていただきます。お気づきの点がありましたら、誠に恐縮ではございますが財務課までご連絡をお願いいたします。(011-386-8111)



寄付者・ご芳名 (掲載承諾者・敬称略・五十音順) 2024.1.1 ~ 5.31

青木 正利	小田 桐修一	高橋 佳恵	福田 登一
浅野 久男	家登 博	津田 光輝	布施 耕一
荒竹 孝夫	久保田勝彦	土田 幸次	前田 未鹿
飯田眞佐子	熊原 堅一	寺田 弘秋	松尾 暢
生田 園美	小谷 千晶	寺田マサ子	丸岡 愛子
石田 正司	坂尻 康平	戸井 正人	村松 健二
磯角かほり	佐藤 純	中垣 悌	山田 陽介
稲見 喜幸	塩澤 恒幸	仲山 友明	吉川 哲生
上杉 鉄雄	篠原 武秀	新國三千代	渡邊 宏
遠藤 隆	庄司 勇	長谷川 仁	
大畑 揮義	白石 英才	平松 雄介	
	関 正敏	平山 貴雄	

ほか匿名 23 名
※受配者指定寄付をのぞく

オープンキャンパス

日程	開催場所	
6月 9日(日)	江別キャンパス	【学び LIVE !】
7月14日(日)	新札幌キャンパス	【学科を知ろう!】
9月 7日(土)	江別キャンパス	【学校推薦型選抜説明会】
12月 7日(土)	新札幌キャンパス	【サツガク模試】
2025年 3月20日(木・祝)	新札幌キャンパス	【サツガク入門】

お申し込み方法など最新情報につきましては本学公式ホームページをご確認ください。



大学進学セミナー

高校生の進路選択、進学準備を整えるきっかけづくりを目的に、10会場で「大学進学セミナー」を開催します。

大学進学セミナーでは、学科紹介、入試制度説明、個別相談(学生生活、資格・就職、奨学金など)について教職員がご案内します。

遠方のためオープンキャンパスへのご参加が難しい高校生、保護者、教員の皆さまのお越しをお待ちしています。

お申し込み方法など最新情報につきましては本学公式ホームページをご確認ください。

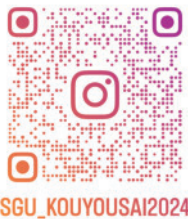


開催日程	開催地	会場	時間
7月27日(土)	盛岡	アイーナ いわて県民情報交流センター	16:30 ~ 18:30 (受付 16:00 ~)
7月28日(日)	八戸	ユートリー (VISIT はちのへ)	13:00 ~ 15:00 (受付 12:30 ~)
7月29日(月)	弘前	弘前市民会館	15:30 ~ 17:30 (受付 15:00 ~)
8月 2日(金)	室蘭	FK ホールディングス 生涯学習センター きらん	16:30 ~ 18:30 (受付 16:00 ~)
9月28日(土)	旭川	旭川市市民活動交流センター CoCoDe (ココデ)	12:30 ~ 15:00 (受付 12:00 ~)
9月29日(日)	北見	北見芸術文化ホール	10:30 ~ 13:00 (受付 10:00 ~)
10月 5日(土)	帯広	道新ホール帯広	12:30 ~ 15:00 (受付 12:00 ~)
10月 5日(土)	函館	函館市地域交流まちづくり センター	13:00 ~ 15:30 (受付 12:30 ~)
10月 6日(日)	釧路	釧路ロイヤルイン	10:30 ~ 13:00 (受付 10:00 ~)
10月 6日(日)	青森	青森県観光物産館 アスパム	10:00 ~ 12:30 (受付 9:30 ~)

第 52 回大学祭「光曜祭」開催のご案内



詳細はインスタグラムをご確認ください。



SGU_KOUYOUSAI2024

日時：6月29日(土) 10:00~19:00

場所：札幌学院大学 江別キャンパス

住所：〒069-8555 江別市文京台11番地

SNS 情報

Instagram



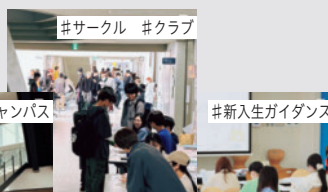
SAPPOROCAMUI.UNIV

Pick Up !

Instagram
の投稿の
一部を
ご紹介！



#大学の花



#サークル #クラブ

#新札幌キャンパス

#新入生ガイダンス

Facebook



X (旧Twitter)



YouTube



この広報紙は、震災復興型カーボンオフセット用紙を使用することにより、CO2 削減活動ならびに東日本大震災被災地復興を応援しています。